

Aichi-Nagoya 2026

2024 年 9 月 17 日（火）

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会 第 34 回理事会の結果について

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会は、本日、第 34 回理事会を開催しました。主な決議事項として、「第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）大会マスコットの決定」が承認されました。

記

【第 34 回理事会概要】

1 日時

2024 年 9 月 17 日（火）午後 1 時から午後 2 時 30 分まで

2 場所

名古屋市公館 1 階 レセプションホール（名古屋市中区三の丸三丁目 2 番 5 号）

3 主な議案

第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）大会マスコットの決定について 等

【添付資料】

■ 第 34 回理事会資料

■ 第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）マスコットデザイン資料

- ・コンセプトシート
- ・選定委員一覧
- ・制作・選定過程について
- ・大会マスコット広報資料
- ・データダウンロードについて

【本件に関するお問い合わせ】

(公財)愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
調整課調整グループ（理事会に関すること）

担当：野村、浅野

電話：052-746-9104（直通）

ブランド・チケットング課ブランドグループ（マスコット
デザイン発表イベントに関すること）

担当：森、廣瀬

電話：052-746-9607（直通）

広報メディア課広報グループ（その他大会に関すること）

担当：金井塚、加藤

電話：052-746-9465（直通）

ウェブサイト：<https://www.aichi-nagoya2026.org/>
<https://www.asianparagames-2026.org/>

第 34 回理事会議案書等

公益財団法人

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
第 34 回理事会

【議 案】

- | | |
|---------|---|
| 第 1 号議案 | 第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）大会マスコットの決定について |
| 第 2 号議案 | 利益相反取引の承認について |

【報告事項】

- | | |
|--------|---|
| 報告事項 1 | 職務執行状況報告について |
| 報告事項 2 | 第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）マーケティングガイドライン及び IT ガイドラインについて |
| 報告事項 3 | 第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）競技プログラムについて |
| 報告事項 4 | 第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）輸送計画について |
| 報告事項 5 | 文化プログラムの計画について |
| 報告事項 6 | アスリート委員会の活動について |
| 報告事項 7 | パートナーシップ契約の締結に向けた合意について |
| 報告事項 8 | 持続可能性に配慮した調達コードの策定について |
| 報告事項 9 | 各種協定の締結について |
| 報告事項10 | OCA/APC 調整委員会の開催について |

【その他】

議 案

第 1 号議案 第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）大会
マスコットの決定について

第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）の大会マスコット
について、以下のとおりとする。詳細は資料 1 のとおり。



(参考：第 25 回理事会 第 6 号議案【2023 年 9 月 8 日開催】)

第 6 号議案 知的財産の制作について

第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）（以下「アジア競技大会」という。）及び愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会（以下「アジアパラ競技大会」という。）の知的財産について、2024 年 1 月からスポンサーの権利行使期間が開始することを踏まえ、以下の方針で制作する。

○基本方針

- ・ 透明性、公正性を確保しつつ、適切かつ効率的な方法で P R 効果の高い作品を制作するため、外部有識者による委員会を設置して検討、選定を行う。
- ・ 最終的な決定は、アジア・オリンピック評議会、アジアパラリンピック委員会など、それぞれの大会の関係者とも調整の上で理事会の決議により行う。

（1）アジアパラ競技大会のスローガン・エンブレム

- ・ 外部有識者 5 名程度からなる制作検討委員会を設置し、既に決定しているアジア競技大会のスローガン・エンブレムと統一感のある候補案を複数制作する方法を検討する。
- ・ 制作過程において関係者の意見を十分に反映する機会を設ける。
- ・ 外部有識者 5 名程度からなる選定委員会を設置し、複数の候補案を 1 案に絞り、理事会において最終決定する。

（2）アジア競技大会及びアジアパラ競技大会のマスコット

- ・ アジア競技大会のマスコットとアジアパラ競技大会のマスコットを個別に制作する。
- ・ 外部有識者 5 名程度からなる両大会の制作検討委員会をそれぞれ設置し、個々の大会のスローガン・エンブレムと統一感のある候補案を複数制作する方法を検討する。
- ・ 制作過程において関係者の意見を十分に反映する機会を設ける。
- ・ 外部有識者 5 名程度からなる選定委員会をそれぞれ設置し、複数の候補案を 1 案に絞り、理事会において最終決定する。

大会マスコットについて

1. 大会マスコットとは

大会のシンボルであり、情報発信の重要な要素となるキャラクターである。大会の「顔」として、広報・PRに使用されるほか、着ぐるみを制作してイベント等への出演や、ライセンスで大会関連商品を展開していくなど、様々な場面で活用し、大会を盛り上げていく。

2. デザイン制作者

こ だ ま し ん い ち
兒 玉 真 一 イラストレーター

3. 制作意図

モノづくり王国・愛知を支える「水」から生まれた水の精霊。創意工夫が大好きで、どんな困難も持ち前の行動力とアイディアで乗り越えることができるキャラクターです。

炎がテーマとなったアジア競技大会のマスコット「ホノホン」と対になるように、水（愛知の風土）をテーマにイメージを膨らませていきました。

愛知は豊かな水系と広大な湾を擁し、古くからモノづくり文化を牽引し続けてきました。そこに息づく創意工夫の精神とパラアスリートたちの自己研鑽の精神は根底で相通ずるものだと考えました。

大会エンブレムの曲線的なイメージから、マスコットのデザインにも渦巻模様や曲線表現を用いて、それぞれが響きあうように構成しています。愛知・名古屋の象徴である「シャチホコ」やモノづくり王国・愛知を支える「水」をモチーフに制作しました。

4. 一般意見募集における主な意見

- ・スマートで躍動感のある姿が、身体的な偏見を感じさせず好感が持てる
- ・愛知のコンセプトを兼ね備えながら、スポーティさもあり、国際スポーツ大会らしさが感じられるキャラクターでよい
- ・スポーツらしさ、可愛らしさが感じられる
- ・個性的かつ凝ったデザインが唯一無二で素敵だと思った
- ・頭の形が密かにシャチホコになっているあたりが面白い

5. 制作・選定過程

2023年 9 月 8 日	第25回理事会 ■知的財産の制作に係る基本方針の決定
2024年 5 月10日	第 1 回制作検討委員会 ■制作方針 ・デザインは一般公募を行い、その中から制作検討委員会、選定委員会により候補案 3 案を選定して一般意見募集をかけ、その意見も踏まえて最終案を選定する方針とする ・ネーミングはデザイン決定後に選定委員会で候補案について議論の上、組織委員会が最終決定する方針とする
2024年 5 月27日	募集要項公開
2024年 6 月12日 ～ 7 月 4 日	応募受付期間
2024年 7 月 5 日	第 2 回制作検討委員会 ■スクリーニング ・応募総数185件全案について、応募されたデザインやプロフィール案のチェックを行い、選定対象とする応募作品の絞り込みを実施 ■選定委員会の人選 ・制作検討委員会委員に加えアスリートを起用することを決定
2024年 7 月16日	第 1 回選定委員会 ■候補案の選定 ・アスリートを加えた選定委員 9 名によりデザインやプロフィール案の審査を実施 ・著作者面談や商標調査に付す候補案を選定

2024年7月17日 ～8月5日	著作者面談及び商標調査・出願 ■著作者面談 ・応募作品が独自に制作した未発表のものであるか等、募集要項記載の要件を満たしているか確認 ・権利譲渡等の取決め事項について合意形成 ■商標調査・出願 ・先行商標及び侵害予防調査を実施の上、商標及び意匠登録を出願
2024年8月6日 ～8月12日	一般意見募集 ■候補案3案について一般意見募集を実施
2024年8月20日	第2回選定委員会 ■最終案の選定 ・選定委員会で議論の上、最終候補案を選定した上で、提出された一般意見を踏まえた制作者とのデザイン調整を行ったものを最終案とする方針を決定

6. 制作検討委員会及び選定委員会の構成

＜マスコット制作検討委員会＞

役職名	氏 名	所属等
委員長	廣村 正彰	廣村デザイン事務所 代表取締役
委 員	芦塚 倫史	中京大学スポーツ科学部 准教授
委 員	伊藤 豊嗣	名古屋造形大学 学長
委 員	田口 亜希	日本財団パラスポーツサポートセンター 推進政略部 ディレクター
委 員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委 員	宮下 浩	グラフィックデザイナー

(敬称略／委員は五十音順)

＜マスコット選定委員会＞

役職名	氏 名	所属等
委員長	廣村 正彰	廣村デザイン事務所 代表取締役
委 員	芦塚 倫史	中京大学スポーツ科学部 准教授
委 員	石原 万鈴	パラ水泳／中京大学
委 員	伊藤 豊嗣	名古屋造形大学 学長
委 員	加治 良美	パラカヌー ／NTP名古屋トヨペット株式会社
委 員	田口 亜希	日本財団パラスポーツサポートセンター 推進政略部 ディレクター
委 員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委 員	三阪 洋行	車いすラグビー ／愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技 大会アスリート委員会 委員
委 員	宮下 浩	グラフィックデザイナー

(敬称略／委員は五十音順)

第2号議案 利益相反取引の承認について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第84条の規定に基づき、アジア・アジアパラ競技大会に係る債務負担行為事業の費用負担に関する協定（以下「協定」という。）に係る利益相反取引について承認する。

（1）協定を締結する理由

年度を超えて実施予定の2024年度組織委員会事業について、開催都市において、開催都市負担金にかかる債務負担行為を設定している。この債務負担行為を確定させる必要があることから、開催都市と本組織委員会において協定を締結し、費用負担を求めるもの。

（2）協定の内容

区 分	内 容
締結日	2024年9月中
相手方	愛知県及び名古屋市
参考資料	協定書案…資料2

（3）当事者

氏名	当法人役職	契約相手先役職
大村秀章	会長	愛知県知事
河村たかし	会長代行	名古屋市長

アジア・アジアパラ競技大会に係る債務負担行為事業の費用負担に関する協定書
(組織委員会実施・令和6年度県市債務負担行為事業分)

愛知県（以下「甲」という。）、名古屋市（以下「乙」という。）及び公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（以下「丙」という。）は、第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会（以下、「両大会」という。）に関し丙が実施する事業のうち、甲及び乙の債務負担行為を伴う事業（以下「事業」という。）に関する費用負担について、次のとおり協定を締結する。

(事業内容)

第1条 事業は、別紙一覧のとおりとし、丙がこれを実施するものとする。

2 丙は、甲及び乙に対し、適宜資料の提出を求めることができる。

3 甲及び乙は、丙に対し、適宜報告、資料の提出を求めることができる。

(事業内容等の変更)

第2条 丙は、事業内容又は事業の実施に要する費用を変更する必要がある場合は、甲及び乙に変更後の事業内容及び費用を速やかに通知するものとする。

(実施期間)

第3条 事業の実施期間は、本協定締結の日から令和9年3月31日までとする。

2 前項の期間を変更しようとする場合は、甲、乙及び丙で協議するものとする。

3 甲及び乙は、前項の規定に基づき実施期間が変更された場合には、事業の継続実施に支障がないよう予算措置に努めなければならないものとする。

(費用負担割合)

第4条 事業の実施に要する費用のうち、甲及び乙が負担する費用の負担割合は、甲3分の2、乙3分の1とする。

(費用負担額)

第5条 甲及び乙は別表の概算見込額を上限とし、丙が事業の実施に関して令和7年3月31日までに契約を締結した金額の範囲で費用を負担する。

2 概算見込額は、必要があれば3者の合意により変更することができるものとする。

(費用支払)

第6条 費用の支払については、各年度の丙の事業計画書において定める金額に基づ

き、丙が甲及び乙に請求するものとする。

2 甲及び乙は、費用の請求を受けた後、丙が指定する期日までに費用を丙に支払うものとする。

(契約関係資料の提出)

第7条 丙は、事業の実施にあたり、第三者に委任し、又は請け負わせた場合又は、当該第三者との契約締結後及び契約の履行完了時に、速やかに契約内容が確認できる資料を甲及び乙に提出するものとする。

(協定の変更)

第8条 やむを得ない事由等により本協定を変更する必要がある場合は、甲、乙及び丙において、その都度協議し、本協定を変更できるものとする。

(有効期間)

第9条 本協定の有効期間は、協定締結日から本協定にかかる事務が完了する日までとする。

(その他)

第10条 本協定に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、その都度甲、乙及び丙協議のうえ、定めるものとする。

上記協定の証として、本協定書 3 通を作成し、甲乙丙各々記名押印のうえ、各自その 1 通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

愛知県

代表者 愛知県知事 大 村 秀 章

乙 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号

名古屋市

代表者 名古屋市長 河 村 た か し

丙 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目 2 番 1 号

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

代表者 事務総長 村 手 聡

別 紙（第1条第1項）

No.	項 目	内 容
1	射撃競技に係るサテライト会場整備業務	愛知県総合射撃場周辺に整備するサテライト会場の仮設物の設計事業、整備、保守及び撤去を行う。
2	メダルデザイン選定及び作成業務	両大会において入賞選手に贈呈する入賞メダルのデザイン募集・コンペ運営や金型製作・円形製造・文字彫刻作業などを行う。
3	宿泊管理支援業務	選手団を始めとする大会関係者が宿泊する施設の借り上げを行う。
4	車両運行等に係る業務	大会関係者の安全かつ円滑な輸送を確保するため、バスの運航計画の作成や車両・運転手の確保、システム開発、オペレーションセンター及びデポの管理・監督事業を行う。
5	システム設計・開発業務	テストイベント及び2026年度の本大会に向けて、ITガイドラインに準拠した大会情報システムの設計・開発を行う。
6	通信ネットワーク構築業務	各競技会場、MMC（メインメディアセンター）、大会本部その他の会場等において必要となる通信ネットワークを構築するため、配管・配線・機器設置等設計や詳細設計の作成を行う。
7	ADカード作成業務	大会関係者の身分の証明や大会施設への適切なアクセスコントロールを実施するため、ID兼資格認定カード（ADカード）を作成する。
8	チケット販売業務	両大会で実施される多種多様な競技を対象として、一般及び大会関係者に対しチケットの販売を行うためのチケット計画の策定に向けた検討やシステムの構築を行うほか、カスタマーセンターの運営体制の準備を実施する。
9	ボランティア実施計画及び運営業務	両大会の着実な運営や、両大会の盛り上げのため、ボランティアの募集・選考・研修・運営事業を行う。

別 表（第5条第1項）

概 算 見 込 額

（単位：円）

期 間	甲 の 負 担 額	乙 の 負 担 額	総 額
令 和 7 年 度	13,148,312,000	6,574,155,000	19,722,467,000
令 和 8 年 度			

報告事項

報告事項 1 職務執行状況について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 91 条第 2 項及び定款第 26 条第 6 項の規定に基づき、会長、会長代行及び専務理事の職務の執行状況を、資料 3 のとおり報告する。

2024 年 9 月 17 日

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

会長	大村 秀章
会長代行	河村たかし
会長代行	三屋 裕子
会長代行	嶋尾 正
会長代行	水野 明久
専務理事	村手 聡

職務執行状況報告書

この報告書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 91 条第 2 項及び定款第 26 条第 6 項の規定に基づく会長、会長代行及び専務理事の自己の職務の執行の状況に関する報告である。

職務執行状況報告書

(2024年3月28日から2024年9月17日まで)

1 理事会・評議員会の開催

・次のとおり、理事会及び評議員会を開催し、各議案の審議等を行った。

区 分	開催日 (決議日)	議案等
第30回理事会 (書面)	5月31日	議案 2件 ▶副会長の選定、評議員会の開催
第31回理事会	6月11日	議案 6件 ▶2023年度事業報告書及び計算書類等の承認、 第20回アジア競技大会大会マスコットの決定、 第5回アジアパラ競技大会大会コアグラフィックスの決定、 事務局規程及び職員の給与に関する規程の一部改正、 内部監査規程の制定、評議員会の開催 報告事項 6件
第32回理事会 (書面)	7月11日	議案 3件 ▶会長代行の選定、副会長の選定、利益相反取引の承認
第33回理事会 (書面)	9月5日	議案 1件 ▶評議員会の開催 報告事項 2件
第34回理事会	9月17日	議案 2件 ▶第5回アジアパラ競技大会マスコットの決定、 利益相反取引の承認 報告事項 10件
第21回評議員会 (書面)	6月10日	議案 4件 ▶理事の選任3件、監事の選任
第22回評議員会	6月27日	議案 10件 ▶2023年度計算書類等の承認、理事の選任9件 報告事項 2件
第23回評議員会 (書面)	9月13日	議案 1件 ▶理事の選任

2 大会全般

- ・第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）（以下「第20回アジア競技大会」という。）及び第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）（以下「第5回アジアパラ競技大会」という。）の成功に向け、5月14日及び7月18日に文部科学省に対して、大会経費への支援等について要請した。
- ・大会に関係する各自治体を集め、大会の情報提供を行う「アジア・アジアパラ競技大会自治体連絡調整会議」を8月23日に開催し、各自治体との連携を深めながら大会の準備を進めた。また、一部の自治体とは大会時の都市運営について協力事項の確認を行った。
- ・第20回アジア競技大会から第5回アジアパラ競技大会への移行に関する方針として「アジアパラ競技大会移行に関する基本方針」を5月28日に策定した。

3 競技

- ・アジア・オリンピック評議会（OCA）への第20回アジア競技大会の競技プログラム及びエントリーマニュアルの提出に向けて、OCA及び競技団体等との協議・調整を進めた。
- ・第5回アジアパラ競技大会の競技スケジュール等の決定に向けて、アジアパラリンピック委員会（APC）及び競技団体等との協議・調整を進めた。
- ・6月5日に第3回アスリート委員会を開催し、アジア競技大会やアジアパラ競技大会等の経験者の知見や意見をくみ上げ、大会の運営に関する意見聴取を実施した。
- ・入賞メダルについて、デザイン案の公募を行い、メダルデザイン審査会において、デザイン案を選定した。
- ・医療サービスの提供に向けて、医療関係者等の意見を確認しながら、大会時の医療体制について検討し、関係団体等と協議、調整を進めた。

4 式典及び文化プログラム

- ・開閉会式について、6月11日開催の理事会での意見を踏まえ、基本コンセプトに共生社会やウェルビーイングの視点を加えた基本プランを6月に策定するとともに、実施プランの策定を進めた。
- ・聖火リレーについて、実施方法、期間、対象地域等を検討し、リレー実施に向けた基本計画の策定を進めた。併せて、県内自治体及び県外の競技会場所在自治体へ実施概要の説明を行うとともに、実施意向調査を行った。
- ・文化プログラムの実施方法について、OCAへ提出する計画を作成した。また、認証事業について、要領を策定し、公表時期や方法を検討した。

5 競技大会施設

- ・第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の競技会場や練習会場について、AF/IF等を招聘して現地視察を行い、OCA・APCの承認に向けた準備を進めた。
- ・モデル会場運営計画をベースに各会場において諸室配置や動線計画、人員配置など大会当日における競技会場の会場運営計画の策定作業を進めた。
- ・2025年度から実施予定の競技会場仮設整備の実施設計に向けて、競技会場仮設整備の基本設計を進めた。

6 宿泊

(1) 選手団宿泊施設

- ・具体的な運営方法に係る検討を進めるとともに、選手団規模、競技日程等を考慮し、OCA、APC等とも協議しながら、適宜、配宿シミュレーションを行い、選手・チーム役員の宿泊に係る検討を進めた。
- ・第20回アジア競技大会の選手団の宿泊施設としてクルーズ船の活用を検討する方針について、5月11日のOCA総会において説明し、クルーズ船の活用に向けて関係省庁等と調整を進めた。
- ・宿泊管理体制の検討及び宿泊施設との契約締結に向けた交渉を進めた。

(2) 大会関係者（選手・チーム役員以外）宿泊施設

- ・具体的な運営方法に係る検討を進めるとともに、関係者ごとの規模、日程等を考慮し、OCA、APC等とも協議しながら、適宜、配宿シミュレーションを行い、大会関係者の宿泊に係る検討を進めた。
- ・宿泊管理体制の検討及び宿泊施設との契約締結に向けた交渉を進めた。

7 競技大会要員

- ・早期に新規着任者が組織委員会の職員として必要となる知識・能力の取得ができるよう、4月中に新規着任者向けの研修を実施した。
- ・(公財)日本財団ボランティアセンターと連携協定を締結し、ボランティアの研修・運営についての協力体制を構築した。

8 輸送

- ・大会輸送に関するバス及び乗用車の運行計画や車両・運転手確保及び運行管理体制の検討、配宿シミュレーションを踏まえた輸送拠点間の輸送ルートを検討を進めた。

- ・関係者輸送のための車両基地となる輸送デポの基本設計を進めた。
- ・関係機関との協議を行うなど、輸送計画の作成を進めた。

9 情報技術

- ・ネットワークの基本設計を進めた。
- ・10月に開催が予定されるOCAのIT監査に向けて準備を進めた。

10 メディア

- ・放送分野について、国際放送センター（IBC）や各競技会場における国際映像制作体制の検討など、2025年度以降のホスト放送局業務の本格化に向けて準備を進めた。また、6月に開催したOCAの独立放送監査人による第1回放送監査において、国際映像制作に関する準備状況の説明や競技会場の視察などを実施した。
- ・報道分野について、6月までにメインプレスセンター（MPC）及びサブプレスセンター（SPC）など競技会場におけるプレスオペレーションの基本条件を整理し、当該基本条件を踏まえた具体的なプレスオペレーション計画の検討を進めた。
- ・IBCとMPCを統合したメインメディアセンター（MMC）について、2023年度に検討した建築、電力、空調などの仕様を踏まえ、MMCの整備に向けて必要となる要求水準書などの作成を進めた。

11 国際関係

- ・4月にアジア5地域のNOC及びNPC担当を配置し、各NOC及びNPCとのコミュニケーションの強化を行った。
- ・5月にバンコク、9月にデリーで開催されたOCA総会に参加し、大会開催準備状況を説明した。
- ・6月にクアラルンプール及びバーレーンで開催されたOCA地域フォーラムに参加し、情報収集及び愛知・名古屋大会のPRを行った。
- ・7月～9月に開催の第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）及びパリ2024パラリンピック競技大会の現地視察を行った。

12 警備

- ・OCA、APC、アスリート委員等の外部の意見を確認しながら、警備ガイドラインの改定に向けて記載内容の検討を進めた。また、各競技会場、非競技会場の現地視察を進め、警備計画への反映を行った。

13 大会プロモーション

- ・2023年度に愛知学長懇話会（2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会専門委員会）が実施したアイデアコンテストにおいて表彰されたアイデアをもとに、「愛知・名古屋2026 2年前イベント」で、学生たちがブース出展やステージパフォーマンス等の取組を実施するための準備を行った。
- ・6月にクアラルンプール及びバーレーンで開催されたOCA地域フォーラムに参加し、情報収集及び愛知・名古屋大会のPRを行った。〔再掲〕
- ・第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）開催期間中にJOC JAPAN HOUSEにPRブースを設置し、第20回アジア競技大会のPRを行ったほか、国内の各種イベントにおいてもブース出展を行い、競技体験の実施やパンフレット・ノベルティ等の配布を通じて広報活動を実施した。
- ・アジア大会・アジアパラ大会公式ウェブサイト、各種SNSを通じて大会の準備状況やアスリートへのインタビュー記事を掲載するとともに、英語でも積極的な情報発信を行った。

14 マーケティング

- ・マーケティング代理店と共にパートナー候補企業へのセールスを実施した。
- ・市場開拓や今後の商品展開の参考情報とすることなどを目的とした先行商品として、4月27日から公式ライセンスグッズの販売を開始した。
- ・6月26日に公式ライセンスグッズを製作・販売管理するライセンシーの募集説明会を実施した。
- ・第20回アジア競技大会マスコットの制作を行い、6月11日にデザインの発表、7月14日にお披露目イベントを行った。
- ・第5回アジアパラ競技大会マスコットデザインの公募を行い、選定委員会において選定を進めた。
- ・7月にチケット事業者と契約を締結し、チケットティング計画の検討を進めた。

報告事項 2 第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）マーケティングガイドライン及び I T ガイドラインについて

第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）のマーケティングの実施・運用のあり方を定めるマーケティングガイドライン及び大会の運営支援や競技結果を収集管理する大会情報システムのあり方を定める I T ガイドラインについて、O C A と合意したため、その概要を報告する。

- ・アジア競技大会 マーケティングガイドラインの概要 … 資料 4－1
- ・アジア競技大会 I T ガイドラインの概要 … 資料 4－2

アジア競技大会 マーケティングガイドラインの概要（主な内容）

1 収入の管理

- 組織委員会パートナーからの協賛（協賛金＋現物支給）と、OCAパートナーからの現物支給は、組織委員会が管理する。

・組織委員会の収入分は、OCAを通さず、組織委員会が提供を受けて管理する。

2 広告・ブランド宣伝

- OCA・組織委員会パートナーの広告/看板は、組織委員会が決定した場所に設置する。

・OCAパートナーの広告/看板の設置場所（競技会場での配置）は、事前にOCAに確認の上で決定する。

- 公式記者会見の会場等に掲示するパートナーロゴのサイズ・場所は、組織委員会がOCAと協議のうえ決定する。

・マラソンのゴールラインに掲示するパートナーロゴを含む。

3 物品/サービス/現物支給

- 組織委員会は、OCA・組織委員会パートナーに現物支給される物品・サービスについて、自らの裁量で利用できる。

- 組織委員会は、調達（現物支給を含む）において、原則として、OCA・組織委員会パートナーが対象とするカテゴリーの物品・サービスを採用する。

・大会開始1年前までに組織委員会と当該パートナーとの間で、供給条件で合意しなかった場合は、この限りではない。

4 公式刊行物の制作

- 組織委員会は、大会のチケットやア kreditationカードに、OCAと協議して決定したパートナーのロゴを表示できるようにする。

- 組織委員会は、大会の公式刊行物の中で、OCA・組織委員会パートナー以外の企業等の物品・サービスについて言及・記載しない。

・協議により、OCAの了解を得れば可

5 営業権（競技会場におけるパートナーの営業）

- 組織委員会は、OCA・組織委員会パートナーが競技会場で営業を行うことを可能にする。

・組織委員会は、競技会場においてパートナーが自己の商品（物品・サービス）を陳列、実演、販売することができる場（必要なスペースや施設）を提供する。

6 反アンブッシュ・マーケティング/権利の保護

- OCAと組織委員会は、アンブッシュ・マーケティング※、パートナー以外の者による大会ロゴ等の不正使用が行われないよう監視・管理する。

※ パートナーでない企業等が、大会パートナーであるかのように、便乗して広告活動を行うこと

開催都市契約 1. 定義 アンブッシュ・マーケティング

・OCA、組織委員会又は競技大会と何らかの直接的又は間接的な関連性（一般市民が容易に連想する関連性）を創出し、暗示し、又は参照する（公的又は民間の）個人又は事業体が行う商業的又は非商業的な行為のうち、OCA又は競技大会統括団体（開催都市、NOC、組織委員会）が正式に承認していない行為をいう。

- 組織委員会は、エンブレム、ロゴ、マスコット等について、公式に定めたもの以外は使用せず、他者にもその使用を許可しない。

アジア競技大会 ITガイドラインの概要（主な内容）

1 大会運営システムの構築（IT化の範囲）

- 組織委員会は、大会の運営支援や競技結果を収集管理するため、アジア競技大会情報システム（次の4つのシステムにより構成）を構築する。

・大会管理システム	・大会関係者の資格認定、宿泊、輸送 等
・大会結果システム	・競技結果の集約・管理、競技の進行管理 等
・結果配信システム	・競技結果の配信
・大会支援システム	・各システムの稼働状況の監視

2 大会管理システム

- 大会期間中、運営・管理を行うシステム。主な機能は以下のとおり。

(1) 大会関係者（参加者）の資格認定〔アクレディテーション〕

- 大会関係者（各人）の登録、認証、識別等を行うシステム

- ・大会関係者（選手、役員、スタッフ、ボランティア等）の情報の登録、本人確認等を支援
- ・関係団体がオンラインでシステムに直接登録することで作業を効率化

(2) 宿 泊

- 大会関係者の宿泊を管理するシステム

- ・選手や役員、スタッフ等が宿泊する施設・客室の割当等を支援
- ・多数の大会関係者のチェックイン/チェックアウト、支払業務等の作業を効率化

(3) 輸 送

- 大会関係者の輸送を管理（車両の運行、配車等）するシステム

- ・競技会場・非競技会場※間の輸送業務を支援
- ※練習会場、メインメディアセンター、宿泊施設、公式入出国地点（中部国際空港を予定）等

3 大会結果システム

(1) 会場結果システム

- 競技の結果情報の収集・整理、競技の進行管理等を各会場で行うシステム

- ・他のシステム等との通信障害等に備えた、会場単位で独立したシステム
- ・測定データ等の迅速で正確な結果情報（記録・採点・スコア等）の作成
- ・結果情報に基づく各競技のスケジュールや、試合・レースの組合せ等の考案

(2) 中央結果システム

- 全ての競技の結果や日程に関する情報を集約し、保存・管理するシステム

- ・会場結果システムと連動して全ての競技関連情報を管理
- ・各種レポート（競技スケジュール、新記録、メダル集計、参加選手リスト等）の作成

4 結果配信システム

- 結果情報等（試合結果や記録、選手情報等）をリアルタイムで配信するシステム

- ・競技結果等の情報を関係者向け専用サイトに配信するとともに、一般向けにウェブサイト等で公開
- 大会運営本部/会場スタッフ、競技団体、選手・コーチ、NOC、メディア等

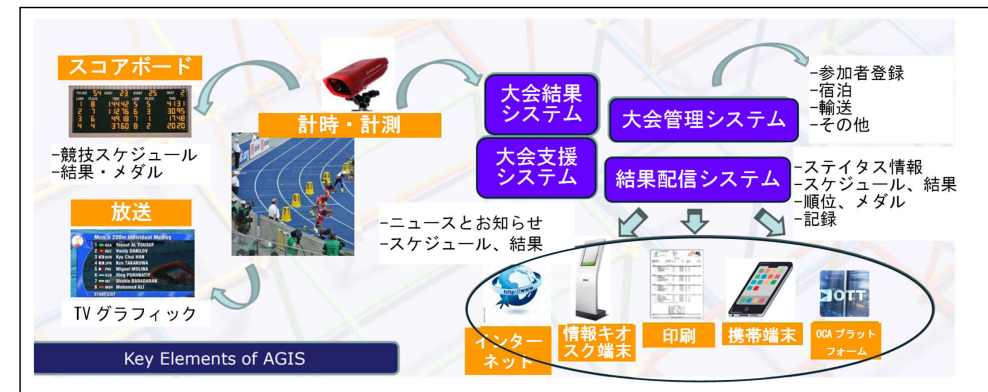
5 大会支援システム

- 大会管理システム等の各システムやネットワークが正常に稼働するよう監視するとともに、各障害に対応するヘルプデスクの機能を持つシステム

- ・各システムの情報機器、アプリケーション、ネットワーク、セキュリティの監視、インシデントの追跡・対応 等

6 その他

- 組織委員会は、全ての競技会場と非競技会場（大会運営本部、IT 指令センター、メインメディアセンターに限る）の間を二重の回線で接続する。



報告事項3 第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）競技プログラムについて

第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の競技プログラムを作成し、OCAに提出するため、その概要を報告する。

【競技プログラム案の概要】

・ 実施競技：41競技

・ 種別：58種別

- ▶ パリオリンピック実施競技 ⇒ パリ大会で実施した種別
- ▶ その他の競技 ⇒ 基本的に過去のアジア競技大会で実施した種別の範囲で選定

・ 種目：約400種目

- ▶ パリオリンピック実施競技 ⇒ パリ大会で実施した種目に準拠
- ▶ その他の競技 ⇒ 杭州大会で実施した種目に準拠

・ 競技会場：55会場

・ 競技日程：各競技（種別・種目）の実施日、競技の開始・終了時刻

- ▶ 競技日程は、今後の調整等により変更する可能性がある。

アジア競技大会 競技・種別・競技会場一覧…資料5

<参考>開催都市契約 4.1 競技プログラム（抜粋）

OCAは、競技大会の2年前までに、競技大会のプログラムの重要な基礎を形成する競技及び種別について組織委員会に助言する。組織委員会は、OCAの助言に基づき、競技大会のプログラムを作成し、それを承認のためOCA理事会に提出する。

第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋） 競技・種別・競技会場 一覧

競技	種別	競技会場
水泳	競泳	東京アクアティクスセンター
	飛込	
	アーティスティックスイミング	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場[ToBiO]
	水球	名古屋市総合体育館［レインボープール］
	マラソンスイミング	新舞子マリンパーク
アーチェリー		岡崎中央総合公園多目的広場（※）
陸上競技	（トラック/フィールド）	名古屋市瑞穂公園陸上競技場
	（マラソン）	名古屋市瑞穂公園陸上競技場（都心コース）
	（競歩）	愛知県庁・名古屋市役所周辺コース
バドミントン		一宮市総合体育館
野球／ソフトボール	（野球）	岡崎中央総合公園野球場
		豊橋市民球場
	（ソフトボール）	安城市総合運動公園ソフトボール場
バスケットボール	バスケットボール	ウイングアリーナ刈谷
	3×3	金城ふ頭駅前特設コート
ボクシング		西尾市総合体育館
ブレイキン		愛知県新体育館［愛知国際アリーナ］
カヌー	スプリント	三好池
	スラローム	矢作川カヌースラロームコース
自転車競技	トラック	伊豆ベロドローム
	ロードレース	新城市内発着コース
	マウンテンバイク	小幡緑地
	BMX レーシング	名古屋競輪場 BMX レースコース
	BMX フリースタイル	愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
馬術	馬場馬術／総合馬術／障害馬術	JRA 馬事公苑
E スポーツ		愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
フェンシング		愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
サッカー		豊田スタジアム
		名古屋市港サッカー場
		ウェーブスタジアム刈谷
		名古屋市瑞穂公園ラグビー場
		長良川競技場
		小笠山総合運動公園エコパスタジアム
		京都府立京都スタジアム
		長居陸上競技場
		神戸総合運動公園 ユニバー記念競技場

競技	種別	競技会場
ゴルフ		愛知カンツリー倶楽部東山コース
体操	体操	名古屋市総合体育館［レインボーホール］
	新体操	
	トランポリン	
ハンドボール		春日井市総合体育館
		豊田合成記念体育館［エントリオ］
ホッケー		岐阜県グリーンスタジアム
柔道		愛知県新体育館［愛知国際アリーナ］
柔術		愛知県武道館
カバディ		東海市民体育館
空手		豊橋市総合体育館
クラッシュ		愛知県武道館
近代五種		安城市総合運動公園陸上競技場他
ローイング		長良川国際レガッタコース
ラグビー	ラグビー 7 s	名古屋市瑞穂公園ラグビー場
セーリング		海陽ヨットハーバー
セパタクロ		名古屋市瑞穂公園体育館
射撃	（ライフル／ピストル／クレ）	愛知県総合射撃場
スケートボード		愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
スポーツクライミング		名古屋市国際展示場[ポートメッセなごや]
スカッシュ		名古屋金城ふ頭アリーナ
サーフィン		田原市赤羽根町大石海岸［ロングビーチ］（※）
卓球		スカイホール豊田
テコンドー		豊橋市総合体育館
テニス	テニス	名古屋市東山公園テニスセンター
	ソフトテニス	
トライアスロン		蒲郡市内特設コース
バレーボール	バレーボール	岡崎中央総合公園総合体育館
	ビーチバレーボール	小牧市スポーツ公園総合体育館
		碧南緑地ビーチコート
ウエイトリフティング		名古屋市中心企業振興会館
レスリング	フリースタイル／グレコローマン	愛知県新体育館［愛知国際アリーナ］
武術太極拳		愛知県武道館

※アジア競技連盟等との調整により、競技会場名を修正。

- ・岡崎中央総合公園多目的広場 **他**⇒岡崎中央総合公園多目的広場
- ・田原市赤羽根町大石海岸［ロングビーチ］ **他**⇒田原市赤羽根町大石海岸［ロングビーチ］

報告事項 4 第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）輸送計画について

第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の輸送計画を作成し、OCA に提出するため、その概要を報告する。

（１）策定主体

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会、開催都市（愛知県、名古屋市）

（２）内容

- ・輸送計画の作成について…資料 6－1
- ・輸送計画の概要（主な内容）…資料 6－2

アジア競技大会 輸送計画の作成について

1 趣旨・目的

- 選手や競技団体をはじめ大会関係者の円滑な輸送に向けて、輸送計画を作成し、OCAへ提出する。

開催都市契約 10 輸送 10.1 交通管理

- ・ 競技大会の 2 年前までに、本都市は、OCA に対して競技大会についての交通管理計画を提出するものとする。

2 計画の内容（主な項目）

・目的等	▶円滑な輸送の提供
・目標及び戦略	▶関係者との調整、輸送環境の整備
・役割及び責任	▶組織委員会・開催都市（県、市）の役割・責任
・体制	▶関係者で構成する「輸送連絡調整会議」の設置
・輸送の対象者	▶選手・チーム役員、AF/IF 等の大会関係者（ステークホルダー）
・輸送地点等	▶競技会場・練習会場、宿泊施設、メインメディアセンター 等
・輸送内容（対象者別）	※後述
・開閉会式の輸送	▶会場（瑞穂公園陸上競技場）への輸送
・都市間の輸送	▶愛知・岐阜県以外の競技会場への輸送
・競技会場の輸送	▶適切な車両動線、乗降場の設置等
・非競技会場の輸送	▶車両動線、乗降場・駐車場の設定
・車両認証/駐車場許可	▶セキュリティエリア内への進入可否の確認

※ 輸送内容（対象者別）

選手	・バス：宿泊施設（起点）－ 競技会場・練習会場等 ▶チーム競技には、原則、専用バス（1 チーム 1 台）を提供
競技団体（AF/IF）	・バス：宿泊施設（起点）－ 競技会場 ・乗用車：AF/IF の役員には専属または共用の乗用車を提供
メディア	・バス：メインメディアセンター（起点）－ 競技会場
OCA ファミリー	・乗用車：指定目的地間（競技会場－宿泊施設－公式入出国地点〔空港〕等）

3 関係機関等との連携・協力体制

○ 輸送連絡調整会議の設置

- ・ 関係機関等が連携・協力して大会の輸送に関する検討・調整を行い、輸送方針等を定め、円滑な輸送を推進していくための連携・協力体制の構築

構成

運営主体	組織委員会、開催都市（愛知県・名古屋市）
交通管理者	愛知県警察本部
道路管理者等	中部地方整備局、中部運輸局、愛知県、名古屋市 NEXCO 中日本、県道路公社、名高速、名港管理組合
交通事業者等	名古屋市、JR 東海、名古屋鉄道、豊橋鉄道、名古屋臨海高速鉄道 名古屋ガイドウェイバス、愛知環状鉄道、中部国際空港 県バス協会、県タクシー協会、県トラック協会
経済団体	名古屋商工会議所、中部経済連合会、中部経済同友会

4 今後のスケジュール

- 組織委員会 理事会（9 月 17 日（火））で、今回、作成した輸送計画の概要を報告した上で、OCAへ提出する。

【輸送計画のバージョンアップ】

- ・ 輸送計画は、今後、各競技の詳細な日程や参加する選手の人数、選手など大会関係者の宿泊施設等が定まっていく中で、順次、改定し、充実させていく。

2024 年 9 月
輸送計画（V1）

2025 年 9 月
輸送計画（V2）

2026 年 6 月
輸送計画（最終版）

アジア競技大会 輸送計画の概要（主な内容）

1 はじめに（輸送計画の目的）

- 選手をはじめ大会関係者（ステークホルダー）に対する円滑な輸送サービスの提供

2 輸送の目標及び戦略

- 円滑な輸送の実現と安定した都市活動の両立
- 道路管理者・交通管理者や交通事業者と調整し、輸送環境を整備
- 道路交通インフラ等を効率的に活用するための交通マネジメントの実施

3 役割及び責任

- 組織委員会、開催都市（県・市）の役割・責任

- ・大会関係者及び観客・スタッフへの輸送サービスの提供
- ・輸送ルートの設定に係る調整
- ・輸送センター／輸送デポの設置・運営 等

4 輸送に関する体制

- 輸送に関する検討・調整を行い、方針を策定する「輸送連絡調整会議」の設置
- ・開催都市、組織委員会、愛知県警本部、国交省、交通事業者、経済団体等で構成

5 ステークホルダー

- 輸送サービスを提供するステークホルダー

- ・選手・チーム役員、各国の国内オリンピック委員会（NOC）
- ・アジア競技連盟（AF）/国際競技連盟（IF）、OCAファミリー（OCA関係者やそのゲスト等）
- ・メディア、マーケティングパートナー（スポンサー）、大会スタッフ 等

6 大会関係施設（輸送対象となる施設）

- 競技会場：55会場

- 非競技会場

- ・練習会場、メインメディアセンター、選手・NOCの宿泊施設、大会関係者の宿泊施設
- 大会公式入出地点（中部国際空港を予定）

- 輸送デポ（輸送用のバス・乗用車を収容・管理する施設）

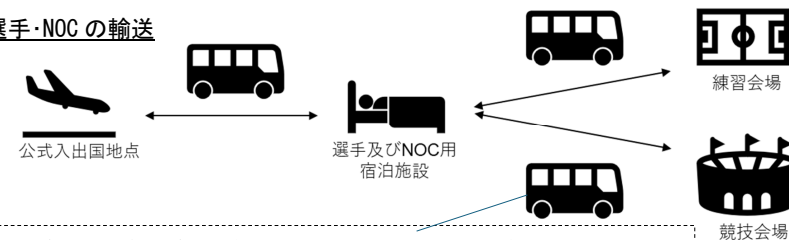
- ・車両駐車スペース、運転手の管理諸室、休憩スペース、車両整備スペース等

7 ステークホルダーごとの輸送

- 選手・NOCの輸送

- ・宿泊施設を起点とした輸送サービスの提供を基本とする。
- ・チーム競技には、原則、1チーム1台のバスを提供

選手・NOCの輸送



競技会場－宿泊施設（チーム競技以外のバス運行）

- ・競技前：競技開始2時間前到着～開始時刻到着まで→30分間隔
- ・競技中：60分間隔で運行
- ・競技後：競技終了～2時間後発車まで→30分間隔

8 開会式及び閉会式における輸送

- 選手・NOC

- ・各宿泊施設から会場（名古屋市瑞穂公園陸上競技場）までの輸送サービスを提供
- ・式典当日は、競技会場・練習会場への輸送を行わない。（競技実施会場を除く）

9 都市間における輸送（愛知・岐阜以外の県外競技会場への輸送サービス）

- 選手・NOC

- ・バスによる輸送サービスを提供
- ・東京（競泳/飛込、馬術）は、公式入出国地点一名古屋駅と東京駅－宿泊施設間のバス輸送、名古屋駅－東京駅間の新幹線輸送を提供

10 競技会場における輸送の運用

- ・来場する関係者ごとに目的地が異なるため、関係者ごとに適切な車両動線や乗降場や目的地への動線を設定

11 非競技会場における輸送の運用

- ・会場ごとに様々な要件があるため、乗降場や駐車場、駐車許可証のチェックポイント、車両動線を会場別に設定

12 車両認証／駐車許可

- ・関係者の輸送車両を識別する車両認証/駐車許可証を車両前面に掲示し、大会関係施設のセキュリティーエリア内への進入や駐車場利用の可否を確認

13 車両誘導

- ・会場内外の車両動線や乗降場に誘導員を配置し、車両や歩行者を案内・誘導

14 車両の調達・管理

- ・大会関係者輸送バス→安全・円滑な運行確保のため、運転手と合わせて調達
- ・乗用車→スポンサーからの提供、タクシーの活用など様々な方法を検討

報告事項 5 文化プログラムの計画について

第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）及び第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）において実施する文化プログラムの計画を作成し、O C A に提出するため、その概要を報告する。

- ・文化プログラム計画（概要）の内容 … 資料 7

愛知・名古屋 2026 大会 文化プログラムについて

1 趣旨等

- アジア・アジアパラ競技大会における文化プログラムの実施に向けて、計画を作成

- ・開催都市契約に基づき、文化プログラムの計画をOCAへ提出

開催都市契約 5.1 文化プログラム

- ・競技大会の2年前までに、組織委員会は、計画された文化的イベントのプログラム（建築、絵画、彫刻及び音楽の展示又はパフォーマンスを含む。）をOCA理事会の承認を受けるために提出するものとする。

2 文化プログラムの計画（概要）

(1) 趣旨等

- 日本、愛知・名古屋の歴史、文化芸術等の魅力を紹介・発信するとともに、大会関係者や県民・市民が交流する機会となる文化プログラムを実施する。

(2) 基本コンセプト

- 大会コンセプト、スローガン等を踏まえて実施する。

大会スローガン

- ・アジア競技大会「IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。」
・アジアパラ競技大会「IMAGINE ONE HEART ところを、ひとつに。」

(3) 基本的な枠組み

- ・開催都市が行う「主催事業」に加えて、多様な団体が行う取組を組織委員会が認証する「認証事業」を実施

(4) 実施内容

① 主催事業

実施主体	・開催都市（愛知県・名古屋市） ・競技会場所在自治体、県内自治体の参画可（費用は自己負担）
期 間	・文化の魅力発信や大会の機運醸成に効果的な時期
場 所	・主に大会関係施設（競技会場、メインメディアセンター、宿泊施設等）
内 容	・展示：魅力紹介（歴史、文化芸術、自然、工芸品・食品、先端技術等） ・体験：文化芸術、競技（大会の実施競技等） ・その他：交流イベント等

② 認証事業

- ・認証を受けた事業主体には、その取組が大会の文化プログラムであることを示す認証マークの使用が認められる。

実施主体 (対象者)	・開催都市（愛知県・名古屋市）、国、県内自治体、競技会場所在自治体 ・放送権者、大会スポンサー※ ・JSPO/JPSA、JOC/JPC、国内競技団体 ・県内または競技会場所在自治体内の学校、大学連携協定締結大学 ・その他の非営利団体等で組織委員会が認める団体 ※大会スポンサー以外の民間企業は対象外
期 間	・2025年9月19日～2026年12月31日 (認証の対象となる事業の実施期間)
場 所	・国内各地 (競技会場周辺、公共施設、イベントスペース、観光スポット等)
内 容	・多様な団体が行う事業・取組を幅広く文化プログラムとして認証 ・文化的要素が組み込まれていることを要件とする。 (多くの団体の参画を得て、機運醸成にもつなげていく。)

3 スケジュール等

2024 年	・文化プログラムの計画の理事会報告：2024.9/17 →計画をOCAへ提出 【認証事業】 ・募集要項、認証マークの発表：2024/9/18 ・認証事業の募集開始：2024/9/19 ・組織委員会が認証を希望する事業を募集し、内容を確認した上で、大会の「文化プログラム」として認証
2025 年	【認証事業】 ・認証事業の実施期間：2025/9/19～2026/12/31 ・事業実施団体は、事業実施の際に認証マーク等を掲示し、認証事業であることを発信
2026 年	【主催事業・認証事業】 ・主催事業の実施：主に大会期間中 ・認証事業の実施：2025/9/19～2026/12/31

報告事項6 アスリート委員会の活動について

1 第3回アスリート委員会の開催結果（概要）について

（1）日時

2024年6月5日（水）午後2時から午後4時まで

（2）場所

名古屋市公館「レセプションホール」

（3）出席者

谷本歩実委員長、松田丈志副委員長、三阪洋行副委員長始め13名中12名出席

（一部オンライン参加）

※池田めぐみ理事がオブザーバーとして参加

（4）議題

- ・広報・PRについて
- ・アスリートによる学校訪問事業試行実施について
- ・アンチ・ドーピングについて
- ・その他

（5）アスリート委員からの主な意見

- ・広報PRについては、もうすぐ2年前イベントを迎えることとなるが、早い段階からのスタートは切れていると思う。
- ・学校訪問について、委員の皆さんにもご協力をお願いしたい。
- ・広報、宿泊、輸送、ドーピングなど項目ごとに委員の役割分担を決めて1名につき2－3項目を専任とすることとしたい。
- ・ユニバーシアードでクルーズ船に宿泊した委員から、当時の経験を活かしたアドバイスがあり、クルーズ船を活用した大会運営に楽しみが沸いたところである。

2 学校訪問事業について

委員会での意見などを踏まえ、以下のとおり実施することとした。

実施にあたっては、愛知県・名古屋市・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会と共同して行っていくこととする。

(1) 目的

アスリート委員が学校を訪問し、スポーツの楽しさや価値、共生社会の大切さなどを直接児童生徒に伝えるとともに、アジア競技大会・アジアパラ競技大会への興味・関心を喚起する。

(2) 試行実施

- ・実施時期

2024 年 6 月 17 日（月）

- ・実施校

名古屋市立の小学校

- ・訪問者

谷本歩実委員長（柔道）、廣瀬誠委員（パラ柔道）

(3) 今後の予定（愛知県・名古屋市と共同して実施）

- ・実施時期

2024 年 10 月から 2025 年 2 月（月 1 回を予定）

- ・実施対象

県内市町村立小中学校（計 5 校）

- ・訪問者

アスリートとパラアスリートのペアで訪問

報告事項7 パートナースhip契約の締結に向けた合意について

パートナースhip契約の締結に向けて、以下のとおり合意した。

1 パートナースhip契約に関する覚書の締結について

(1) 合意先

会社名：361°（スリー・シックス・ワン・ディグリー）

本 社：中華人民共和国 福建省晋江市

(2) 主な合意内容

パートナースhip契約に係る基本的な事項

・協賛ランク アジア競技大会

OCAスポンサー（AINAGOC Tier1：プレステージパートナー）

・協賛カテゴリー・業種 スポーツウェア

(3) 覚書の締結予定日：2024年9月20日（金）

2 パートナースhip契約の締結に向けた合意について

(1) 合意先

会社名：東武トップツアーズ株式会社

本 社：東京都墨田区押上一丁目1番2号

東京スカイツリーイーストタワー

(2) 主な合意内容

契約の締結に向け、相互に誠意をもって交渉を進めていくこと

・協賛ランク アジア競技大会 Tier2：オフィシャルパートナー

アジアパラ競技大会 Tier2：オフィシャルパートナー

・協賛カテゴリー・業種 旅行業（大会関係者輸送及びその他関連サービス）

・契約締結時期 2024年度内の契約締結を予定

報告事項 8 持続可能性に配慮した調達コードの策定について

1 策定趣旨

今後、当組織委員会における工事や物品調達など様々な調達案件が増えてくることから、SDGsに配慮した調達基準を定める「持続可能性に配慮した調達コード」を策定した。

2 持続可能性に配慮した調達コードとは

調達する物品やサービス、工事、ライセンスグッズ（以下、「物品等」という。）について、原材料の採取から加工・流通・提供に至る供給過程全体で持続可能性が確保されるよう、サプライヤーやライセンシー及びそのサプライチェーンに求める事項をまとめたもの。

	主な項目	内 容
共通事項	適用範囲	組織委員会が調達する全ての物品・サービス・工事、ライセンスグッズ
	持続可能性に関する基準	組織委員会が調達する物品等に関して、以下の事項をサプライヤー、ライセンシー、それらのサプライチェーンに求める。 〈全般〉 法令遵守 〈環境〉 省エネの推進、3R(リデュース、リユース、リサイクル)+Renewable(リニューアブル)の推進、温室効果ガスの削減 等 〈人権〉 差別・ハラスメントの禁止 等 〈労働〉 強制労働・児童労働の禁止、ハラスメントの防止 等 〈経済〉 公正な取引慣行、地域経済の活性化 等

	担保方法	調達コードの実効性を確保するための、誓約、サプライチェーンへの働きかけ、取組状況の記録化・開示・説明、遵守状況の確認・モニタリング、改善措置等について規定
	通報受付窓口	調達コードの不遵守に関する通報を受け付け、対応する仕組み
物品別の個別基準		物品等やその他原材料等については、個別に調達基準や確認の実施方法等を設定 〈対象〉木材、紙、農・畜・水産物、パーム油

報告事項 9 各種協定の締結について

公益財団法人日本 AED 財団、独立行政法人国際協力機構（JICA）中部センター、公益財団法人日本財団ボランティアセンターとそれぞれ連携・協力に関する協定を締結した。

1 公益財団法人日本 AED 財団との連携協定

（１）締結日

2024 年 9 月 6 日（金）

（２）連携・協力事項

- ・大会の P R ・普及活動及び AED の普及・啓発に関する連携
- ・大会におけるボランティアに関する連携
- ・大会運営に関するノウハウや情報の共有
- ・その他両機関が必要と認める分野での連携

2 独立行政法人国際協力機構（JICA）中部センターとの連携協定

（１）締結日

2024 年 9 月 12 日（木）

（２）連携・協力事項

- ・スポーツ SDGs の推進に関する連携
- ・大会におけるボランティア等、人的分野に関する連携
- ・国内外における大会の広報・PR に関する連携
- ・その他両機関が必要と認める分野での連携

3 公益財団法人日本財団ボランティアセンターとの連携協定

(1) 締結日

2024 年 9 月 17 日 (火)

(2) 連携・協力事項

- ・ ボランティア募集に関する広報の連携・協力
- ・ ボランティア研修に関する連携・協力
- ・ ボランティア運営に関する連携・協力
- ・ 職員を始めとした本大会に関わる者の資質向上研修の実施

報告事項10 OCA/APC調整委員会の開催について

1 OCA調整委員会について

(1) 概要

開催都市契約において、OCA、IF、AF、NOCの代表者
その他専門家から構成される調整委員会を設置することとされて
いる。調整委員会は組織委員会による競技大会の準備の進捗を確
認し、組織委員会に支援を提供等するもの。

(2) 開催日

2024年9月19日（木）

9月20日（金）

(3) 会場

ヒルトン名古屋「扇の間」

(4) 参加者（予定）

OCA調整委員：ティモシー・フォク委員長始め17名

JOC関係者：三屋裕子副会長（組織委員会会長代行）

尾縣貢専務理事（組織委員会副会長）

組織委員会：大村秀章会長、河村たかし会長代行、

村手聡事務総長始め5名

（計23名）

(5) その他

会議のほか、県内大会関連施設等の視察を予定

2 APC調整委員会について

(1) 概要

開催都市契約において、APCが組織委員会を監督・支援することを目的として1年に最大2回開催することが定められている。組織委員会から委員に大会の準備状況等について報告し、大会運営等について協議等を行うもの。

(2) 開催日（予定）

2024年11月13日（水）

11月14日（木）

(3) 会場

コートヤード・バイ・マリオット名古屋

「セントラルボールルーム」

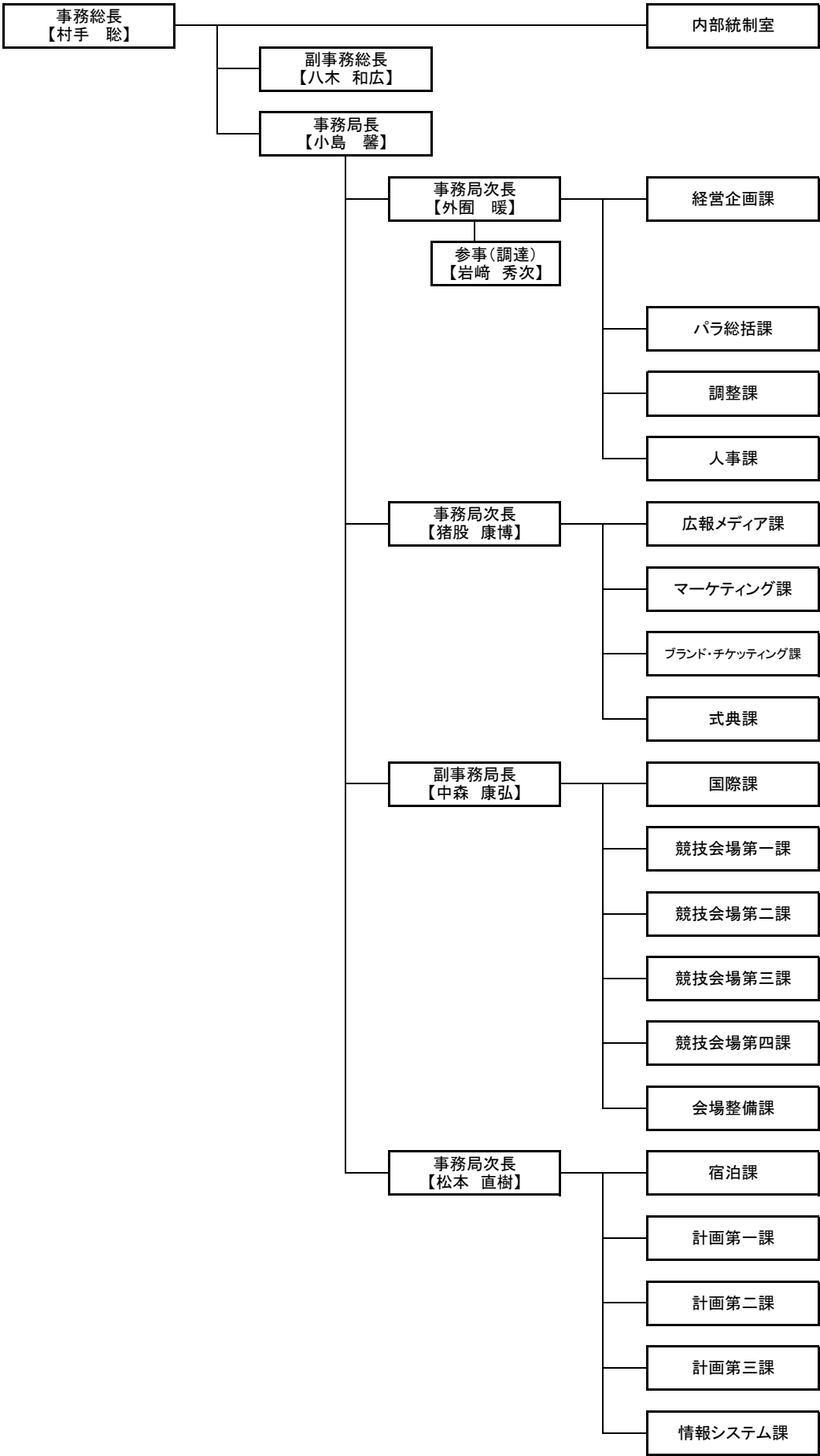
(4) 参加者（予定）

APC調整委員、JPC関係者、組織委員会 等

(5) その他

会議のほか、県内大会関連施設等の視察を予定

2024年9月17日 【19課1室体制:347人】



第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)マスコット



制作意図

モノづくり王国・愛知を支える「水」から生まれた水の精霊。創意工夫が大好きで、どんな困難も持ち前の行動力とアイデアで乗り越えることができるキャラクターです。炎がテーマとなったアジア競技大会のマスコット「ホノホン」と対になるように、水(愛知の風土)をテーマにイメージを膨らませていきました。愛知は豊かな水系と広大な湾を擁し、古くからモノづくり文化を牽引し続けてきました。そこに息づく創意工夫の精神とパラアスリートたちの自己研鑽の精神は根底で相通ずるものだと考えました。大会エンブレムの曲線的なイメージから、マスコットのデザインにも渦巻模様や曲線表現を用いて、それぞれが響きあうように構成しています。愛知・名古屋の象徴である「シャチホコ」やモノづくり王国・愛知を支える「水」をモチーフに制作しました。

制作者



兒玉 真一(こだま しんいち)

イラストレーター

1975年山口県生まれ。広島県福山市在住。フリーイラストレーターとして似顔絵制作、企業看板イラスト、広告イラストを制作。近年、マスコットキャラ公募に作品を制作・出品。企業、TV番組のマスコットキャラなどに採用され、現在に至る。誰にとっても気軽に便利にイラストを頼める、【コンビニイラストレーター】として活動中。

第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）マスコット選定委員一覧

選定委員長



廣村 正彰 グラフィックデザイナー 廣村デザイン事務所 代表取締役

1954年愛知県生まれ。田中一光デザイン室を経て、1988年廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などのCI、VI計画、サインデザインを手がけている。主な仕事に、日本科学未来館、すみだ水族館、9hナインアワーズ、アーティゾン美術館、石川県立図書館、名古屋造形大学、LOFTのアートディレクション、東京2020スポーツビクトグラム開発、WDO世界デザイン会議東京2023など。主な受賞歴に、毎日デザイン賞、KU/KAN賞、SDA大賞、グッドデザイン金賞、DSA大賞ほか。著作『デザインからデザインまで』（ADP）他。

選定委員



芦塚 倫史 中京大学 スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科 准教授

民間企業でのスポーツビジネスのキャリアを経て、中京大学スポーツ科学部の専任教員に。同学部のスポーツマネジメント学科の設立時（2021年4月）より現職。「スポーツマーケティング論」、「スポーツマネジメント演習」、「ゼミナール（スポーツマーケティング）」および「ダイバシティ社会論」などの授業を担当している。英国の大学院の修士課程に留学し、経営学修士（サッカー産業MBA）を取得。名古屋市生まれ。



伊藤 豊嗣 グラフィックデザイナー 名古屋造形大学 学長

1958年三重県生まれ。1981年三重大学教育学部美術科卒業。1984年デザイン事務所設立。主な受賞歴に、公益財団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）ポスター大賞1993、JAGDA新人賞1994、第15回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ1996銅賞（ポーランド）、平成14年度名古屋市芸術奨励賞、上海万博（2010）・国際ポスターコンペティション名誉賞、第62回全日本広告連盟名古屋大会（2014）シンボルマークコンペ採用、Poster Stellars 2022 第2回国際ポスターコンペティション Political部門銅賞（アメリカ）他。



田口 亜希 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター推進戦略部ディレクター
パラリンピアン

大阪生まれ。学校卒業後、郵船クルーズに入社。客船「飛鳥」にパーサーとして乗務。25歳の時、脊髄の血管の病気を発症し、車椅子生活になる。退院後、友人の誘いでビームライフル（光線銃）射撃を始め、その後実弾を使用するライフル射撃（エアライフル銃、22口径火薬ライフル銃）に転向。アテネ、北京、ロンドンと3大会連続でパラリンピックに出場。アテネでは7位、北京では8位に入賞。東京2020大会ではエンブレム選考委員、マスコット審査会委員等を務めた。パリ2024パラリンピック日本代表選手団団長。



田中 里沙 事業構想大学院大学 学長

広報・広告・マーケティングの専門誌「宣伝会議」の編集長、取締役編集室長を経て、2016年に地方創生と新規事業の研究と人材育成を行う、学校法人先端教育機構「事業構想大学院大学」（名古屋校はJRゲートタワー27階）学長に就任。企業や自治体、他大学との連携による新事業、イノベーション、地域ブランディング等を企画し、推進する。「クールビズ」「育業」ネーミング、東京2020エンブレム、大阪・関西万博キャラクター、G7広島サミットロゴ等の審査員、政府広報アドバイザーのほか、審議会委員を務める。三重大学理事（広報・ブランディング担当）。



宮下 浩 グラフィックデザイナー

1961年、愛知県岡崎市出身。愛知県立芸術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。愛知産業大学造形学部デザイン学科准教授を退任後、現在、グラフィックデザイナー。主な受賞歴に、世界ポスタートリエンナーレトヤマ'97/'09 入選、おいしい東北パッケージデザイン展2017 審査委員賞（福島治賞）等。

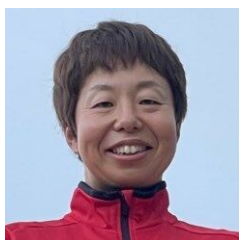
第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）マスコット選定委員一覧

選定委員



石原 万鈴 水泳 中京大学

愛知県一宮市出身。中京大学在学。元パラ水泳競技者。専門種目は自由形短距離。2024ジャパンパラリンピック100m自由形優勝、50m自由形2位。先天性右前腕欠損。水泳を始めたきっかけは、小学校の体育の授業で遅れをとらないようにスイミングに通ったこと。中学生でパラ水泳に出会い、約10年間競技者として戦った。



加治 良美 カヌー NTP名古屋トヨペット株式会社 所属

愛知県岡崎市出身。中学2年生の時に交通事故で両足を切断し、その後、リハビリの医師に紹介されて車いすマラソンに取り組む。33歳の時にカヌーの関係者に誘われて競技を始め、2019世界選手権、2021東京パラ、2023杭州アジアパラにも出場を果たした。2024アジアパラカヌー選手権 WKL3クラス1位。



三阪 洋行 車いすラグビー 一般社団法人D-beyond 代表理事

高校生の時にラグビー練習中の事故で頸髄を損傷し、車椅子生活となる。入院中に車いすラグビーと出会い、アテネ、北京、ロンドンと3大会連続でパラリンピックへ出場。引退後は日本代表のアシスタントコーチを務め、2016年リオパラリンピックでは日本初となる銅メダル獲得、2018年世界選手権優勝に貢献。現在は日本、アジアのパラリンピック委員会アスリート委員長に就任し、2020年に自身が代表を務める一般社団法人D-beyondを立ち上げ、パラスポーツの普及とパラアスリートのキャリア形成に尽力している。著書「壁を越える～車いすのラグーマンパラリンピックへの挑戦～」(山川出版社)

アジアパラ競技大会マスコットの制作・選定過程について

2023年 9 月 8 日	第25回理事会 ■知的財産の制作に係る基本方針の決定
2024年 5 月10日	第 1 回制作検討委員会 ■制作方針 ・デザインは一般公募を行い、その中から制作検討委員会、選定委員会により候補案 3 案を選定して一般意見募集をかけ、その意見も踏まえて最終案を選定する方針とする ・ネーミングはデザイン決定後に選定委員会で候補案について議論の上、組織委員会が最終決定する方針とする
2024年 5 月27日	募集要項公開
2024年 6 月12日 ～ 7 月 4 日	応募受付期間
2024年 7 月 5 日	第 2 回制作検討委員会 ■スクリーニング ・応募総数185件全案について、応募されたデザインやプロフィール案のチェックを行い、選定対象とする応募作品の絞り込みを実施 ■選定委員会の人選 ・制作検討委員会委員に加えアスリートを起用することを決定

2024年 7 月16日	第 1 回選定委員会 ■候補案の選定 ・アスリートを加えた選定委員 9 名によりデザインやプロフィール案の審査を実施 ・著作者面談や商標調査に付す候補案を選定
2024年 7 月17日 ～ 8 月 5 日	著作者面談及び商標調査・出願 ■著作者面談 ・応募作品が独自に制作した未発表のものであるか等、募集要項記載の要件を満たしているか確認 ・権利譲渡等の取決め事項について合意形成 ■商標調査・出願 ・先行商標及び侵害予防調査を実施の上、商標及び意匠登録を出願
2024年 8 月 6 日 ～ 8 月12日	一般意見募集 ■候補案 3 案について一般意見募集を実施
2024年 8 月20日	第 2 回選定委員会 ■最終案の選定 ・選定委員会で議論の上、最終候補案を選定した上で、提出された一般意見を踏まえた制作者とのデザイン調整を行ったものを最終案とする方針を決定

第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋) 大会マスコット 広報資料

5th Asian Para Games Aichi-nagoya 2026 / Tournament Mascot Public Relations Materials



5th Asian Para Games
Aichi-Nagoya 2026

こちらは広報資料としてお配りするもので、
詳細な使用規定については後日スタイルガイドを発行いたします。

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋） マスコット〈コンセプト〉

制作意図

モノづくり王国・愛知を支える「水」から生まれた水の精霊。創意工夫が大好きで、どんな困難も持ち前の行動力とアイデアで乗り越えることができるキャラクターです。

炎がテーマとなったアジア競技大会のマスコット「ホノホン」と対になるように、水（愛知の風土）をテーマにイメージを膨らませていきました。

愛知は豊かな水系と広大な湾を擁し、古くからモノづくり文化を牽引し続けてきました。そこに息づく創意工夫の精神とパラアスリートたちの自己研鑽の精神は根底で相通ずるものだと考えました。

大会エンブレムの曲線的なイメージから、マスコットのデザインにも渦巻模様や曲線表現を用いて、それぞれが響きあうように構成しています。愛知・名古屋の象徴である「シャチホコ」やモノづくり王国・愛知を支える「水」をモチーフに制作しました。



第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋) マスコット〈カラー -1〉

マスコットはフルカラーで表現することを基本とします。
ここに示す組合せ、色以外での使用は認められません。

マスコット 基本スタイル



	CMYK	sRGB	DIC
	C:93% M:65% Y:0% K:0%	R:0 G:86 B:167 #0056a7	579C
	C:0% M:0% Y:0% K:100%	R:0 G:0 B:0 #000000	582
	C:0% M:0% Y:0% K:0%	R:255 G:255 B:255 #ffffff	

大会エンブレム 基本スタイル

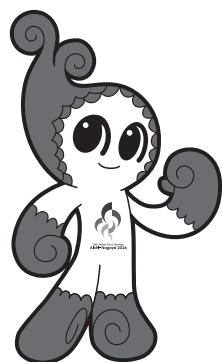


	CMYK	sRGB	DIC
	C:25% M:100% Y:100% K:0%	R:193 G:25 B:32 #c11920	298
	C:0% M:90% Y:90% K:0%	R:232 G:56 B:32 #e83820	2514
	C:0% M:65% Y:90% K:0%	R:238 G:120 B:31 #ee781f	2513
	C:20% M:50% Y:100% K:0%	R:209 G:142 B:4 #d18e04	242
	C:0% M:30% Y:100% K:0%	R:250 G:190 B:0 #fabe00	206
	C:0% M:10% Y:80% K:0%	R:255 G:227 B:63 #ffe33f	57
	C:0% M:0% Y:0% K:100%	R:0 G:0 B:0 #000000	582
	C:0% M:0% Y:0% K:0%	R:255 G:255 B:255 #ffffff	

第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋） マスコット〈カラー -2〉

印刷またはメディア上の制約によりフルカラーでの表示ができない場合は、次のとおりの色での表示が可能です。

マスコット 基本スタイル(グレースケール)



	CMYK	sRGB
	C:0% M:0% Y:0% K:70%	R:113 G:113 B:113 #717171
	C:0% M:0% Y:0% K:100%	R:0 G:0 B:0 #000000
	C:0% M:0% Y:0% K:0%	R:255 G:255 B:255 #ffffff

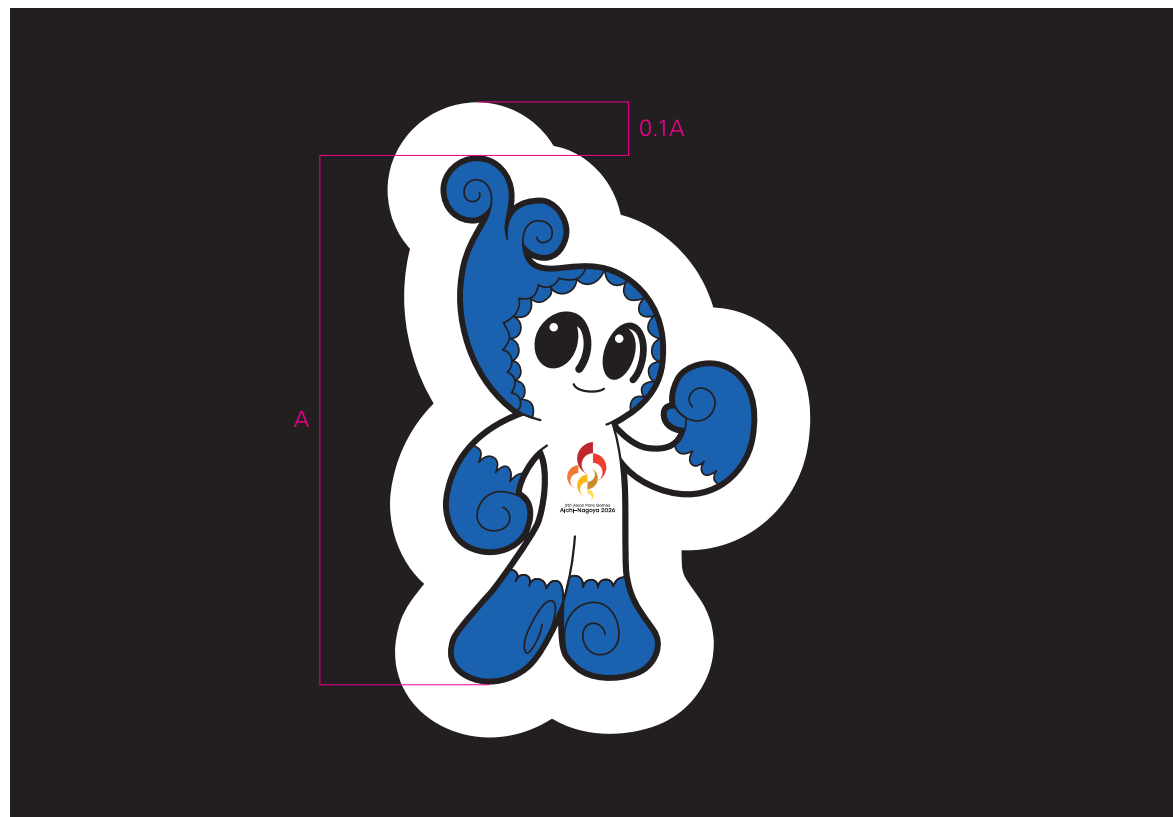
マスコット 基本スタイル(モノクロ)



	CMYK	sRGB
	C:0% M:0% Y:0% K:100%	R:0 G:0 B:0 #000000
	C:0% M:0% Y:0% K:0%	R:255 G:255 B:255 #ffffff

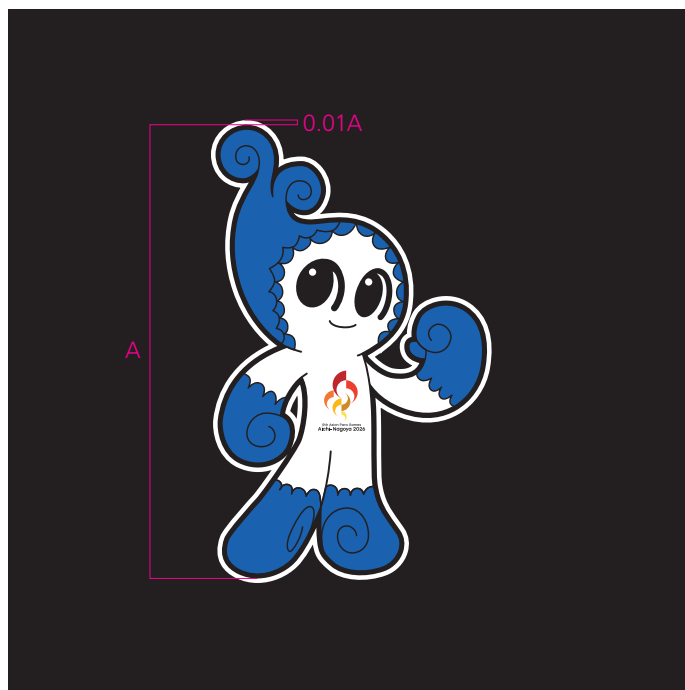
第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋） マスコット〈アイソレーション〉

マスコットを配置する際には、次に定めるアイソレーションエリアを最小の余白として、これ以上の余白を必ず保つようにしてください。
このアイソレーションエリア内には、背景を除くその他の要素を配置しないでください。

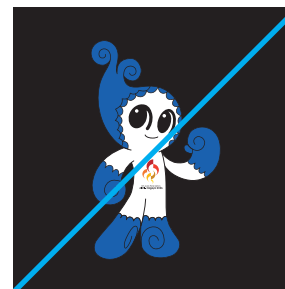


第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋） マスコット〈アウトライン〉

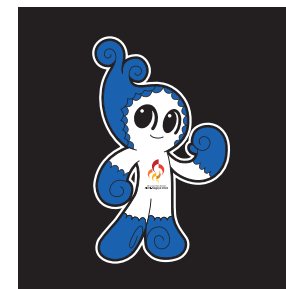
マスコットは白地にフルカラーで展開することを基本としていますが、濃色や複雑な背景の上に表示する場合は、視認性を確保するためにマスコットの周りにアウトラインをつけてください。



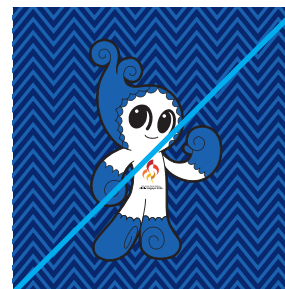
誤った使い方



正しい使い方



誤った使い方



正しい使い方



第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋） マスコット〈最小サイズ〉

マスコットの再現性を確保するため、最小サイズを厳守してください。
これより小さいサイズの使用は認められません。ただし、再現性が
確保できる事を条件に最小サイズ未満の使用を認める場合があり
ますので、組織委員会までご相談ください。

プリント



縦30mm未満のサイズにおいては、原則として同一面上に
近接してエンブレム（横17mm以上）を入れてください。

デジタル



第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋） マスコット〈使用禁止例〉

マスコットを表示する上で誤りがちな例を示しています。ここに示すような誤った表示は、第5回アジアパラ競技大会のブランドイメージの認知を妨げ、価値を損なう原因になります。

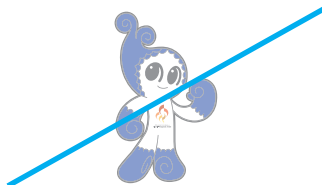
変形しない



変形しない



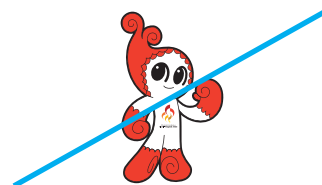
透過させない



規定以外の色の組合せに変更しない



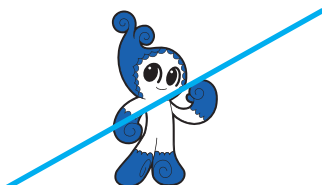
規定以外の色で表現しない



サイズバランスを変えない



大会エンブレムを外さない



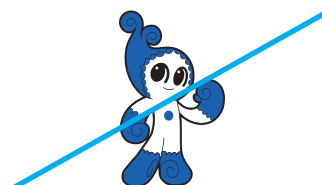
アウトラインを外さない



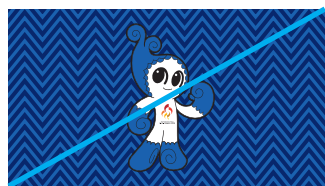
文字や他の要素を配置しない



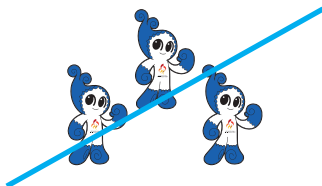
要素を置き換えない



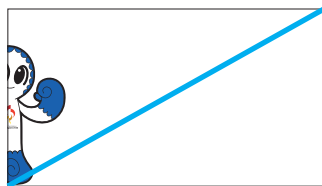
視認性を妨げる背景上に配置しない



同一面上に複数並べない



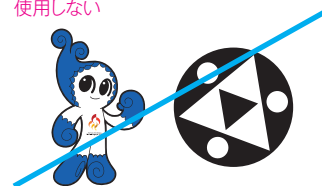
部分的な切り取りをしない



他の要素を付け足さない



他のマークやキャラクターと近接して使用しない



本広報資料は、必要に応じて適宜改訂されます。
本広報資料についてご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
ブランド・チケットング課 ブランドグループ

[TEL] 052-746-9607

[Email] ainagoc-brandticketing@aichi-nagoya2026.org

[URL] <https://www.aichi-nagoya2026.org/>